



子どもも大人も  
皆でエンジョイ！

5月19日、鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究センターで、「2019かのやエンジョイスports」が開催されました。これは市と体大が連携して実施するイベントで、18チーム261人が参加。綱引きなどの体を動かす種目のほか、謎解きやeスポーツなどのユニークな種目もあり、皆で一緒に応援し合いながら、競技を楽しんでいました。



無理なく、楽しく、  
ストレッチ！

5月26日、市体育館で、「3B体操のつどい」が開催されました。3B体操とは、ボール、ベル、ベルターの3つの道具を使って、誰でも無理なく楽しむことができる体操のこと。子どもから高齢者まで約300人が一堂に会し、ペアを組んで行う動きや音楽に合わせたリズムカルな動きなど、それぞれが楽しみながら体を動かしていました。



バス通学の児童が  
命を守るための訓練

5月30日、花岡小学校で、通学にスクールバスを利用する児童に対する不審者対応訓練が行われました。これは、同月に神奈川県川崎市で起きた殺傷事件を受け、県内で初めて実施した訓練。参加した児童は、不審者役の教員から声をかけられると、警察官から学んだ「ランドセルを置いて逃げる」などを実践し、防犯への理解を深めました。



絶景が広がる  
うわばの丘陵を駆ける

5月12日、輝北うわば公園で、「第31回南日本クロスカントリー大会INきほく」が開催されました。絶好の天気恵まれた今年は、同公園内の丘陵地を走る6種目に、県内外から489人が参加。九州一過酷と呼ばれる高低差最大35mのコースに挑んだランナーたちは、輝北天球館や桜島、立ち並ぶ風車など美しい景色の中、その健脚を競い合いました。



### 児童の交通安全を願って

5月11日、田崎小学校の新1年生108人にお守りが手渡されました。これは川西町の交通安全指導員が手作りしたもので、その一つひとつに児童の交通安全への願いが込められています。



### 町内会の避難訓練で 防災意識を高める

5月26日、串良町岡崎の永和町内会で、串良川の増水に備えた避難訓練が行われました。参加した住民は、迅速・安全に避難するために避難所までの経路や、かかった時間などを確認しました。



### たくさんの本に親しむ 心地よい休日

5月12日、市立図書館で、「ミニ図書館まつり」が開催されました。恒例の「ブックリサイクル」のほか、本の読み聞かせやじゃんけん大会等が行われ、訪れた人は楽しい一日を過ごしました。



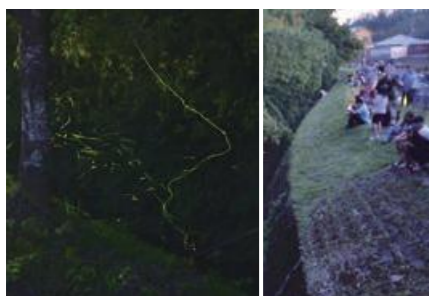
夜間医療への貢献に  
感謝を込めて

5月20日、市役所で、「令和元年度大隅4市5町保健医療推進協議会総会」が開催され、大隅地域の産科医療体制の確保に向けた取り組みについて協議が行われました。また、同日に開催された「令和元年度大隅広域夜間急病センター運営協議会」で、同センターに過去最長となる5年6か月間勤務され、31日に退職する岩崎勇登医師に感謝状が贈られました。



梅雨や台風に備え  
防災対策を確認

5月27日、「令和元年度第1回鹿屋市防災会議」が開催されました。会議には防災に関する行政や市内の団体等が参加。平成30年の台風第24号で浸水が発生した始良川周辺の堤防や樋管を視察し、浸水の原因や対策等を確認したほか、市の防災・減災対策や台風被害の復旧状況、防災情報の伝達方法の変更などの情報共有が行われました。



### 1,000人を魅了した 幻想的な光の舞

5月25日、大始良城跡周辺で、「大始良ほたる祭り」が開催されました。会場には約1,000人が訪れ、大始良小学校の児童が絵付けた竹灯籠と、ホテルが織り成す光の空間を楽しんでいました。



### かざみおさむ 風見治さんの 油絵作品などを展示

5月13日、星塚敬愛園で、昨年逝去された元ハンセン病患者・風見治さんの遺作展が始まりました。油絵作品のほか、過去の個展映像や文学作品の閲覧ができる同展は、9月30日まで開催されます。



### アルミ缶等回収の収益金 で車いすを贈る

5月30日、海上自衛隊鹿屋航空基地の隊員でつくる海曹会が、鹿屋市社会福祉協議会へ車いす3台を寄贈しました。同会が寄贈した車いすは計20台となり、市民に広く活用されています。



天皇即位を記念し  
山陵公園に桜を植樹

5月30日、吾平山陵公園で、天皇陛下の即位を記念した桜の植樹が行われました。これは、5月1日に同公園で開催されたお茶会で集まった寄付金2万円をもとに、美里吾平コミュニティ協議会が実施したものです。同園の入口と昭和天皇行幸記念碑横にソメイヨシノが植樹されると、参加者は新たに誕生した令和のシンボルに、期待を寄せました。



ウミガメ保護へ  
海岸清掃

5月26日、浜田海岸で、「ウミガメ保護に伴う海岸の清掃作業」が行われました。これは、ウミガメの産卵時期に合わせて、海岸の清掃作業を通じて環境を守り続けていくことを目的に毎年開催しているもの。約250人の参加者は、2kmに及び海岸に流れ着いたごみを手分けして拾い、2時間の清掃作業で、軽トラック3台分のごみを集めました。